

関西観光・文化振興計画の見直しについて

平成28年7月16日
広域観光・文化・スポーツ振興局

1 見直しの概要

訪日外国人旅行者の急激な増加に伴い、国が新たな観光戦略や数値目標を掲げたことを受け、関西観光・文化振興計画の数値目標等の一部見直しを行う。

2 数値目標の変更

・ブランド力のアップ

	2013年(改定時)	2015年(実績)	2020年(目標)
関西への 訪日外国人訪問率	33.3%	40.0%	(改定前) 40% → (※1) 45%
関西への 訪日外国人旅行者数	約345万人	約790万人	(改定前) 800万人 → (※2) 1,800万人

・周遊力、滞在力のアップ

	2013年(改定時)	2015年(実績)	2020年(目標)
関西での 外国人延べ宿泊者数	793万人泊	1,652万人泊	(改定前) 2,000万人泊 → (※3) 3,700万人泊
関西での 訪日外国人旅行消費額	約4,700億円	約1兆3,900億円	(改定前) 約1兆円 → (※4) 3兆円

(※1) 計画の検討委員等の意見も踏まえて設定

(※2) 国の新たな数値目標：2020年4,000万人と関西訪問率の目標値45%から算出

(※3) 2015年外国人延べ宿泊者数1,652万人泊と関西への旅行者数の伸び率相当から算出

(※4) 2015年関西での訪日外国人旅行消費額約1兆3,900億円（2015年訪日外国人消費額3兆4,771億円と関西訪問率40.0%から算出した推定値）と関西への旅行者数の伸び率相当から算出

3 国際観光の追加戦略等

国の観光戦略を受けて、新たな戦略等を追記。

- ・世界水準の広域観光周遊ルートづくり
（広域観光周遊ルート「美の伝説」や日本遺産、魅せる文化財の活用など）
- ・文化財等の観光資源としての開花
（保存優先で活用されていなかった文化財等の観光コンテンツとしての質の向上）
- ・文化観光の推進
（関西の文化を内外の博覧会等を通じ広く発信）
- ・宿泊施設不足への対応
（広域的な観光周遊のアピールによる旅館や地方へ誘導などにより分散化を図る）
- ・関西国際観光推進本部の体制強化
（組織体制や財源の確保等について検討を進め、広域連携DMOの先駆けを目指す） 等

※ 本格的な計画の見直し時期は、平成29年度を予定。